

RHEON

レオン自動機株式会社

RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

証券コード 6272

第64期株主通信

中 間

2025年4月1日～2025年9月30日



多列型包あん機

「マルチ コ エクストルーダー」の販売が開始

(1986年)

「マルチ コ エクストルーダー」は、8列仕様で毎時57,600個のクッキーを生産できる多列型包あん機。単列型包あん機約10台分の仕事を1台で賄える、卓越した生産性を実現した。ソフトセンタークッキーや三重包あんクッキーなど、素材の組み合わせや形状の自由度が高い。多様な製品開発に役立てられ、その優れた機能は製造ラインの無人化を促進し、国内はもとより欧米、中東、東南アジアなどの海外でも高く評価される。現在は、16列仕様で毎時最大115,200個の生産が可能となるなど、その能力はさらなる拡大を続けている。

存在理由のある
企業たらん

Top Message

株主の皆様には、日頃より、
当社グループの事業活動・企業活動に格別の
ご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループ第64期中間株主通信を
お届けするにあたりご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

伊藤 純一

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善の動きが続き、個人消費や設備投資の持ち直しの傾向があることから景気は緩やかな回復基調にあるものの、米国の通商政策の動向、為替相場の不安定な推移、物価上昇の継続など、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済においては、欧州ではウクライナ情勢の長期化、中東地域紛争の地政学リスクが引き続き高い水準にあり、景気は低成長が続くと見られます。一方、米国では通商政策の動向による米国内経済に与える影響は見通し困難な状況にあるものの、景気は緩やかな拡大が見られました。中国では不動産市場の低迷や米中貿易交渉の先行き不透明感から、景気回復ペースは鈍化しました。

食品加工機械製造販売事業では、国内では大手ベーカリー向けの受注が堅調さを維持し、流通・外食向けの市場が復活傾向にあることに加え、当社商品が中小企業省力化投資補助金の対象に登録されたことに伴い、補助金を活用した設備案件も増加しております。欧州、米国では安定した設備投資需要が見られ、「アルチザンブレッド生産ライン」や「コンチャ生産ライン」など大型の製パンラインの販売が好調となりました。アジアでは、韓国、東南アジア地域での製パンラインの販売が好調に推移しました。

食品製造販売事業では、米国での消費動向に陰りが見られ、その影響で中間期の販売が減少しました。このような状況の中、第64期中間連結会計期間における売上高は19,937百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は2,448百万円(同11.4%減)となりました。経常利益は2,556百万円(同6.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,710百万円(同9.5%減)となり、当期の中間配当につきましては、1株当たり27円といたしました(年間では54円を予定)。

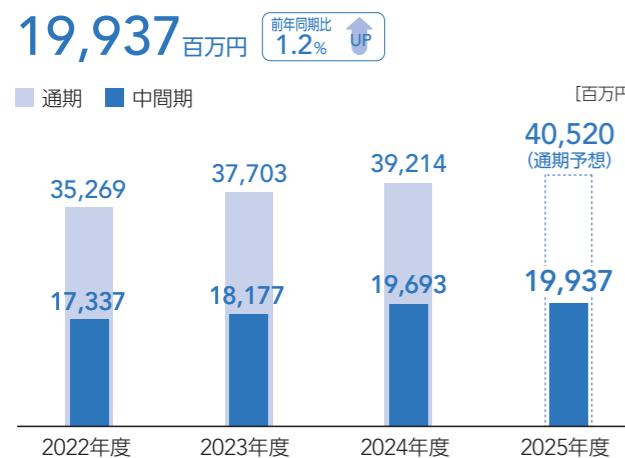
当期は中期経営計画(2023年度～2027年度)の3年目にあたり、基本戦略である「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の推進をさらに加速し、新機種の開発やソフト技術の研鑽を進め、「スマートファクトリー」の実現に向け取り組んでまいります。また、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく影響されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成を引き続き進めてまいります。

株主の皆様には、末永く当社グループをご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

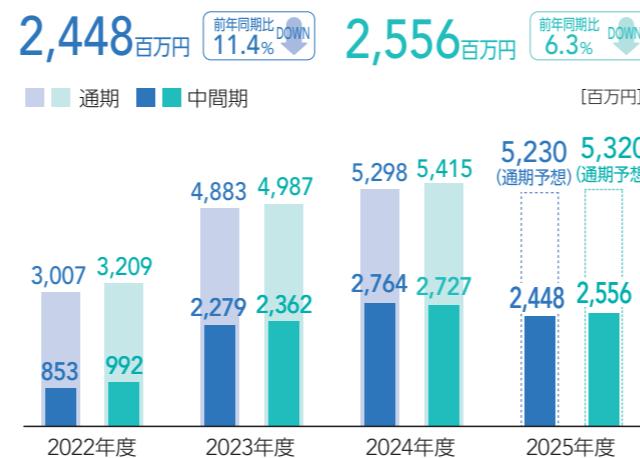
2025年12月

財務ハイライト

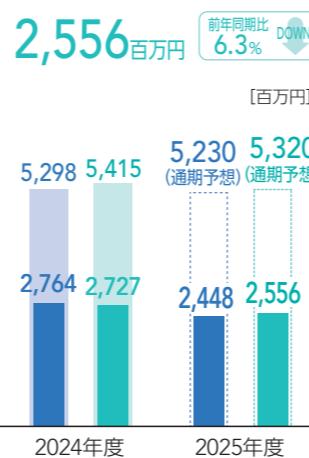
● 売上高



● 営業利益



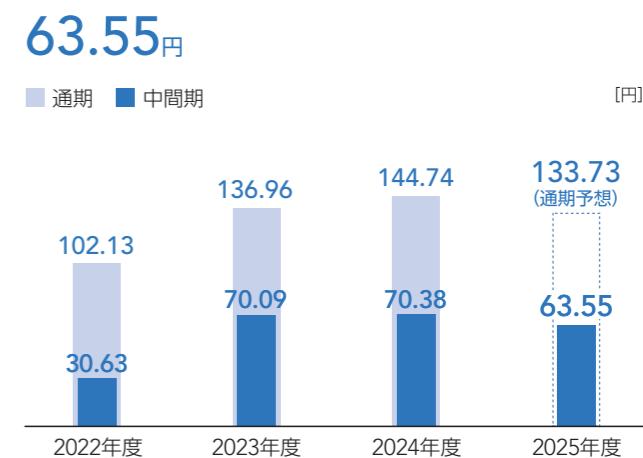
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する中間純利益



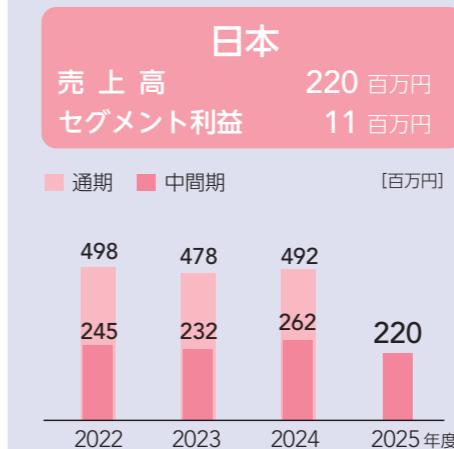
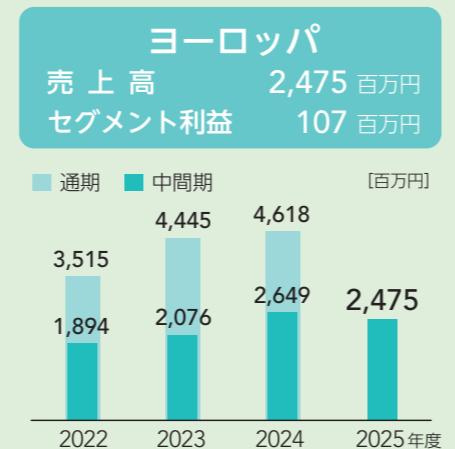
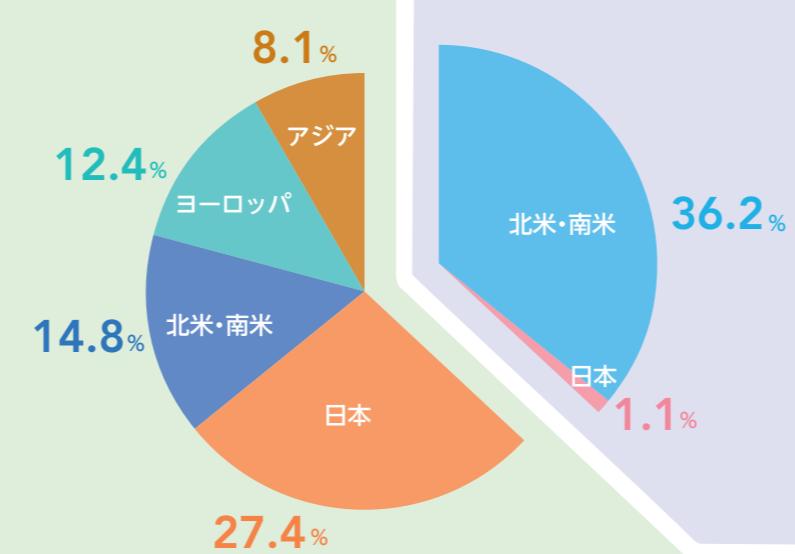
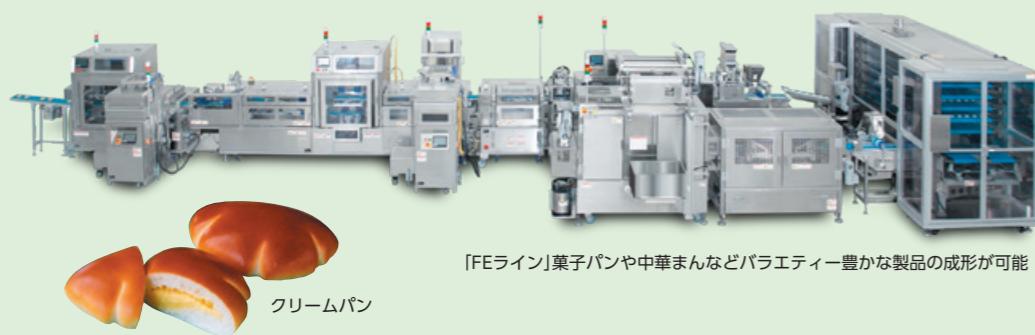
● 1株当たり中間純利益



● セグメント別売上高の推移

食品加工機械製造販売事業 **12,501** 百万円 前年同期比 109.2% 構成比 62.7%

日本と欧州では売上が減少しましたが、米国とアジアでは食品成形機や大型製パンラインの販売が好調で売上が増加しました。米国ではアルチザンブレッドやコンチャの生産ライン需要が継続し、アジアでは韓国、東南アジア地域での販売が好調に推移しました。



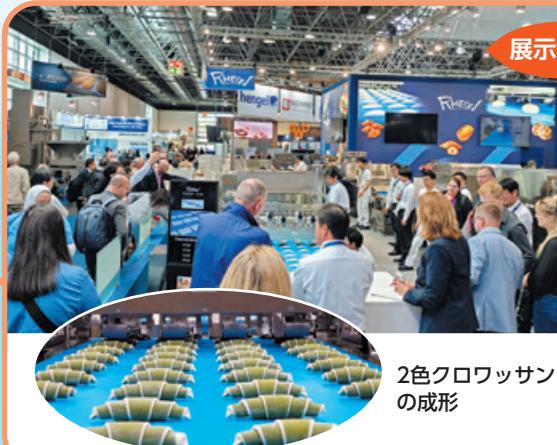
米国子会社であるオレンジベーカリーでは、一部取引先の終売、円高進行の影響、原材料費の上昇により、売上・セグメント利益ともに減少しました。国内子会社の(有)ホシノ天然酵母パン種においても、夏季の気温上昇によるパンの需要低迷などにより、売上・セグメント利益ともに減少しました。



第64期中間期 Topics

2025年

4月



展示会報告

iba2025

5/18~22 ドイツ・デュッセルドルフ

ibaは、世界的に注目を集めます。本来は、3年ごとに開催されますが、今回は2023年と2027年の通常開催の期間を埋める「ミニiba」という特殊形態で開催。それにもかかわらず、149カ国からおよそ4万9千人が来場しました。

当社は、iba2023よりもさらに磨き上げられた「新型ペストリーライン」を中心に5ラインを展示・実演。特殊開催ゆえに規模縮小や実演のないブースが多い中、全ラインで完成度の高い実演を実施したこと、非常に活気あるブースとなり、お客様に存在感を強くアピールしました。流れの美しさ、優れた製品の質、鮮やかな見た目が際立つ実演で、お客様からは熱い注目を集めました。

5月

6月

輸出実績が「130の国と地域」となりました

この度、新たに「モンテネグロ」へレオン機が輸出され、当社の輸出実績が「130の国と地域」となりました。これからも、世界的な販売ネットワークをさらに強固なものとし、世界の食文化の継承と発展に貢献してまいります。

本社(レオン・ソリューションセンター)のサンプルルーム内に設置されている世界地図。これまでの輸出先の国旗をピン留めして掲示しています。



6月

7月

8月

9月

講習会を実施し、ハード・ソフトの両面からサポート

7月9日、本社(レオン・ソリューションセンター)にて、素材メーカー様との共同和洋菓子講習会を開催いたしました。火星人「CN700」を中心に、5品の和洋菓子生産を実演してご紹介。レオン機の解説のほか、食品素材の紹介も充実し、100名を超える参加者の皆様にご満足いただける内容となりました。

当社では、全国の和洋菓子・ベーカリー・調理業界のお客様に向け、業界ニーズに応じたテーマ別の講習会を年間約6回開催しております。ハードだけでなくソフト面からの提案も積極的に行って、新商品開発やレオン機の用途拡大に役立つ情報を発信し続けています。

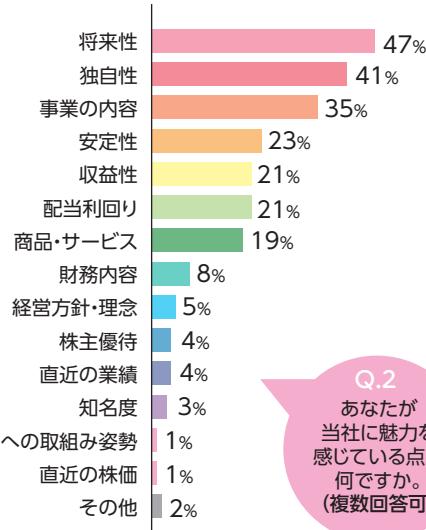
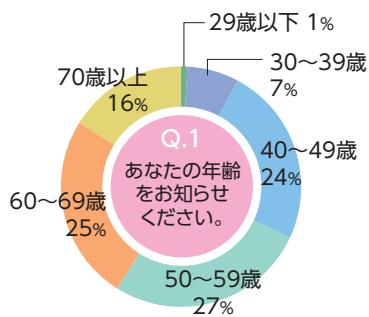


もちもちあんバター

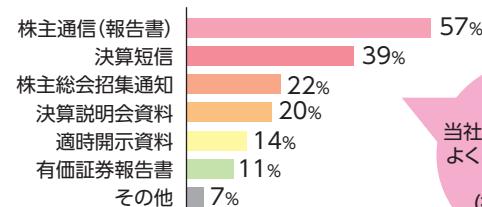
株主様アンケート結果のご報告

「第63期 株主通信」でご案内したアンケートでは、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後のIR活動・情報発信等に活かしてまいります。アンケート結果の一部をご紹介いたします。

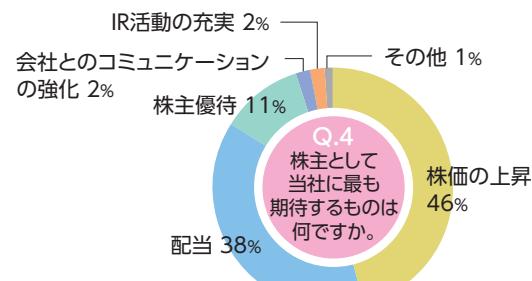
株主様アンケート結果の詳細は、当社ホームページに掲載しております。
https://www.rheon.com/ir/library/shareholder_information/



Q.2
あなたが当社に魅力を感じている点は何ですか。(複数回答可)



Q.3
当社に関する情報でよくご覧になるのは何ですか。(複数回答可)



会社情報/株式情報(2025年9月30日現在)

会社概要

商 号 レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
本 社 栃木県宇都宮市野沢町2番地3
設 立 1963(昭和38)年3月15日
資本金 7,351,750,000円
従業員 679名

(注) 従業員には国内子会社および海外子会社への出向者は含まれておりません。

役員

代表取締役社長	小林幹央
取締役常務執行役員	大貫茂和
取締役常務執行役員	細谷昌樹
取締役常務執行役員	菊地芳幸
取締役	平原興
取締役	赤塚孝江
常勤監査役	秋田規男
監査役	横山不二夫
監査役	水上恵理

- 取締役平原興および取締役赤塚孝江は、社外取締役であります。
- 監査役横山不二夫および監査役水上恵理は、社外監査役であります。
- 取締役平原興、取締役赤塚孝江および監査役横山不二夫、監査役水上恵理は、東京証券取引所の定める独立役員であります。

事業所

上河内工場	宇都宮市中里町715番地1
東京営業所	江東区新砂1丁目6番35号 JMFビル東陽町02 1階
札幌出張所	札幌市白石区南郷通20丁目北1番37号
仙台出張所	仙台市泉区八乙女3丁目12番地の1
名古屋営業所	名古屋市名東区社台3丁目32番1号
大阪営業所	吹田市垂水町3丁目25番11号
岡山営業所	岡山市北区上中野2丁目12番18号
福岡営業所	福岡市博多区東那珂1丁目13番15号
台湾支店	台北市内湖區新湖一路118號5樓 台湾
上海駐在員事務所	中華人民共和国上海市長寧区虹桥路1438号 古北国际财富中心2期5階 502-30室

関連会社

レオンUSA(アメリカ)	レオンヨーロッパ(ドイツ)
株式会社レオンアルミ(日本)	オレンジベーカリー(アメリカ)
有限会社ホシノ天然酵母パン種(日本)	

「つつむ」「レオンパレード」がデジタル化

季刊誌「つつむ」に続き、広報誌「レオンパレード」もデジタルブック化しております。ぜひご覧ください。

つつむ
<https://www.rheon.com/digital/tutumu/>



レオンパレード
<https://www.rheon.com/digital/rheonparade/>



閲覧のみとし、SNS等への掲載はお控えください。

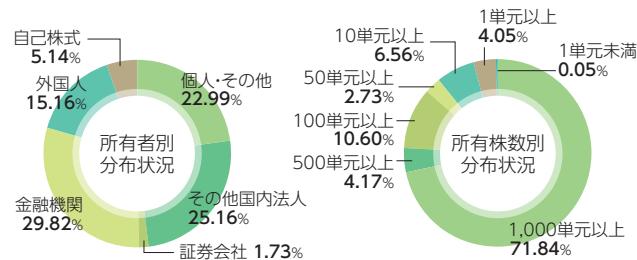
株式の状況

発行可能株式総数	42,800,000株
発行済株式総数	28,392,000株
株主数	7,931名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人林レオロジー記念財団	3,030	11.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,841	10.5
ラム商事有限会社	1,703	6.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,476	5.5
株式会社足利銀行	1,160	4.3
レオン自動機従業員持株会	814	3.0
RE FUND 107-CLIENT AC	500	1.9
株式会社栃木銀行	480	1.8
双葉企画株式会社	478	1.8
日本生命保険相互会社	467	1.7

* 自己株式1,458,426株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

1. ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他の各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金計算書について
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛に「配当金計算書」を同封いたしております。お受取になった配当金をご確認いただけます。

レオン自動機株式会社

RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町2番地3

TEL.028-665-1111

<https://www.rheon.com/>

